

会員のひろば

川井悦子 (北稲八間)

この水車は、北稲八間区の会員川井悦子さん宅に保管されていたものです。

ご主人(秀敏さん)は、他にも大切に保管され、手回しの扇風機、足踏雑穀機、手押し草取り機、唐箕(とうみ=風力を利用して、もみや麦などの穀物を精選する農具のひとつ)など色々ありました。この水車は、終戦後の時代に実際に使用されたもので、池から木の樋で水を誘導し、水車を回して田んぼに水を入れる。学校から帰ってきたら、親から言われて、これが日課であったと話されていました。

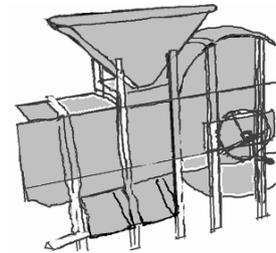
水車は紀元前1世紀に小アジア(西アジアのトルコ共和国アジア部分)で発明されたといわれています。わが国へは、7世紀に、中国大陸で発達していた水車が朝鮮半島・高麗国を経て伝来したようで、日本の水車についての最初の記録は、「日本書紀」(720)です。推古天皇18年(610)のころ、水力を利用した臼があったことが記録されています。



(岩里 記)



取水に使われていた水



唐箕(とうみ)のイメージ

「ふるさと案内人の会」入会案内

ふるさと案内人の会は、精華町内の史跡やめずらしいところを皆で見つけ出し楽しみながら探索をし、知らない事を知りそれを研究して発表する、そんな会です。

興味をお持ちの方は、定例会議をシルバーセンター内会議室で定期的に行っていますので、一度どんな雰囲気なのか気軽に参加して体験して見て下さい。

事務所にご連絡頂ければ次回予定日をお知らせいたします。

社団法人精華町シルバー人材センター
「ふるさと案内人の会」

就業相談会を開催しました

就業の少ない会員に対し希望職種を再確認して次回の就業に繋げると共に会員の未就業を解消するために、今年度からセンター事務局では就業相談会を4月10日、20日に行いました。10日は9名、20日は2名の会員が相談に来られました。

事務局も会員も初めての試みであったためか、20年度未就業会員の参加はありませんでしたが、今まで就業に関して会員の希望、要望を確認する機会が少なかったため、今後継続して実施することによる未就業解消を期待しています。

次回の予定は8月を予定しています。直前になりましたらご連絡します。



就業相談会のよう